関係性の豊かな社会とは

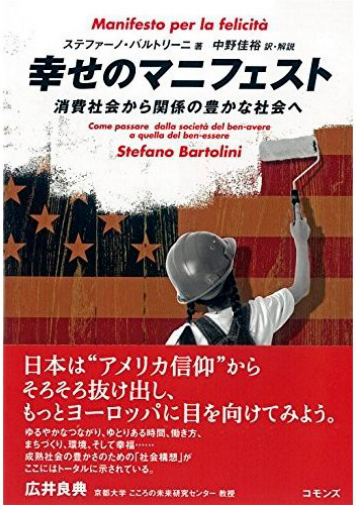
～非市場的な価値の意義とオルタナティブな実践活動～

「市民による新たなアソシエーション活動が拓く関係の豊かな社会」連続学習会

講　師：**中野佳裕**さん（ 早稲田大学地域・地域間研究機構次席研究員）

『カタツムリの知恵と脱成長：貧しさと豊かさについての変奏曲』著（2017.12）
『幸せのマニフェスト：消費社会から関係の豊かな社会へ』訳（2018.8）

日　時 ： 2019 年**8 月 5 日（月）14：00 ～ 16：00**
場　所 ： オルタナティブ生活館 301（新横浜駅徒歩 7 分）
参加費 ： 500 円（個人会員無料）



21 世紀が始まって既に 20 年近くが経過していますが、この間、地球温暖化や格差・貧困の拡大など、行き過ぎたグローバリゼーションの様ざまな歪みが顕在化してきています。

また、今日の日本は米国型の「ポスト・デモクラシー」（富裕な 1%の人びとのための民主主義）の模倣が始まって久しく、このような民主政治の危機は言い換えるならば、「関係の豊かな社会」の危機であると捉えることができます。日本における民主主義の危機や経済成長至上主義が進行するなか、生命や生活、環境などを脅かす社会問題の解決に向けた政策提案などによる市民の政治参加や、地域のたすけあいを「居場所」をテーマにすすめるたオルタナティブなアソシエーションやコミュニティ・デザインなど、多様な活動がどのように「関係の豊かな社会」の形成に向けて動いているのか。

『幸せのマニフェスト』では、消費社会のあり方をとらえ直し「より多くの商品の購入が社会の進歩を意味する観念からの解放」を訴えています。訳者である中野佳裕さんからそうした基礎的解説をはじめ、「関係の豊かな社会」の形成にスポットを当て、地域における先進的な活動事例の共有も含めた学習会を開催したします。

≪次回学習会のご案内≫

テーマ：（仮）＜私＞時代のデモクラシー
～市民による新たなアソシエーション活動を拓くために～
講　師：宇野重規氏（東京大学社会科学研究所教授）
日　時：2019 年 10 月下旬予定
場　所：オルタナティブ生活館館 まなびや

【問合せ・参加申込み】 7 月 31 日までに下記までお申込ください。
参加型システム研究所　〒 231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 4 F
Tel045-222-8720　Fax045-222-8721　e-mail：sanka-fukushi@systemken.org